

操作方法及び設定・調整方法

■操作の前に

- 非常開放レバーが下がっている（非常開放装置がOFF）か確認してください。
- 開閉方向や、周囲の安全を確認した後、操作してください。
- スイッチを先の尖ったもので押さないでください。
- 障害物検知装置が働いてシャッターが停止したときは、速やかに操作を中止してシャッターを点検してください。

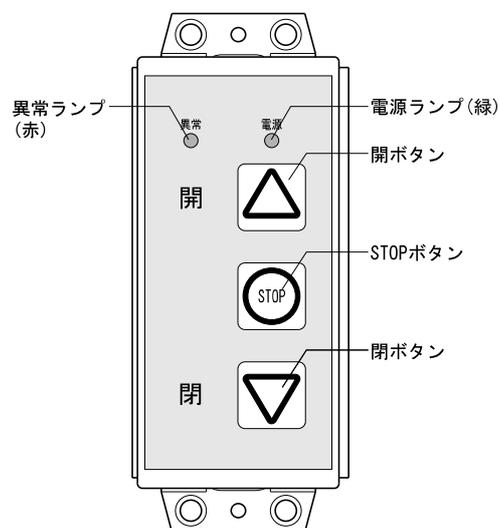
1 操作スイッチ

- ①障害物の有無を確認してから操作してください。
- ②操作スイッチによる動作を下表に示します。

作動状況	操作方法
開ける時	操作スイッチ  開ボタンを押してください。
止める時	操作スイッチ  STOPボタンを押してください。
閉める時	操作スイッチ  閉ボタンを押してください。
障害物検知装置が働いた時	シャッター下降中に座板が障害物に接触し、負荷がかかるとシャッターは3秒間反転上昇し、停止します。

- ※障害物を取除いた後、正常に開閉作動するか確認してください。
- ※非常開放の操作後に行う場合は、上限から約20cm以上下降させた後、 開ボタンを押して全開させてください。（自動的に上限位置を認識させるためです。）
- ※非常開放後、すぐにシャッターを下降させ障害物検知を行うと反転上昇しません。

●操作スイッチ



2 操作スイッチの自己診断

項目	状態	内容
電源ランプ（緑）	消灯	電源OFF、又はヒューズ（ミゼット3A）切れ
	点滅	上・下限未設定時
	点灯	通常時
異常ランプ（赤）	消灯	通常時
	点滅	障害物検知時、又はモーターロック時（開、又は閉操作で消灯）
	点灯	非常開放レバー作動時
ブザー	連続間欠音	非常開放レバー作動時（70秒経過、又は  STOPボタンでもブザー停止）
	3回間欠長音	障害物による3秒間の反転・上昇時
	3回間欠短音	上限設定時及び下限設定時

3

非常開放レバーの操作

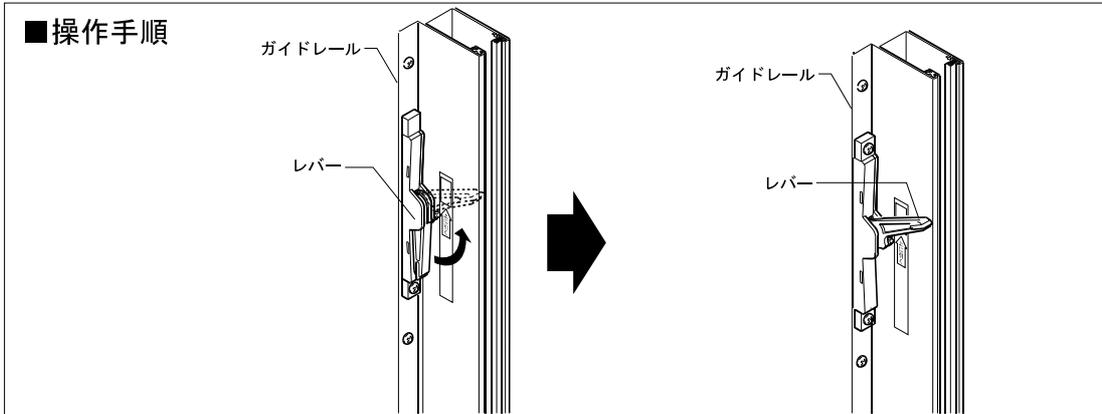
光電センサー付電動タイプは、非常開放レバー操作はありません。

●非常開放レバーはあくまで停電時、緊急時のものです。むやみに操作しないでください。

①ガイドレールにある非常開放レバーを引き上げると、シャッターが手動で開閉できます。

※電源が投入されている場合は、操作スイッチの異常ランプ(赤)が点灯し、ブザーが鳴ります。

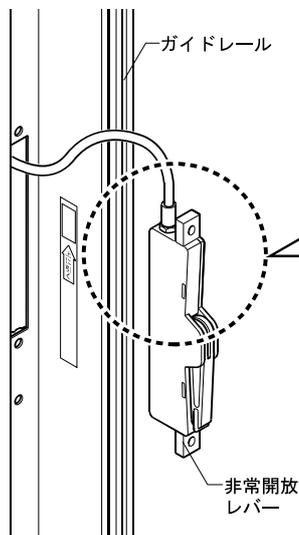
②手動開放操作後は、非常開放レバーを元の位置に戻してください。



- 非常開放レバーを引くと上下限位置がクリアされます。上限から下限までのストロークは記憶されていますので、 閉ボタンでシャッターを全開より20cm以上下降させ 開ボタンを押して全開させてください。自動的に上限位置を認識します。

■非常開放レバーの調整

●非常開放レバーを引き上げてシャッターが手動操作できない、又はレバーを元に戻しても異常ランプが消えない場合は、非常開放レバーの調整を行ってください。

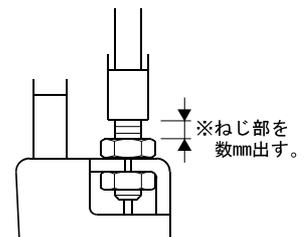


■詳細図

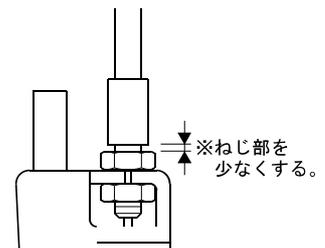
※このねじをゆるめる。

非常開放レバー

●シャッター上げが出来ない。

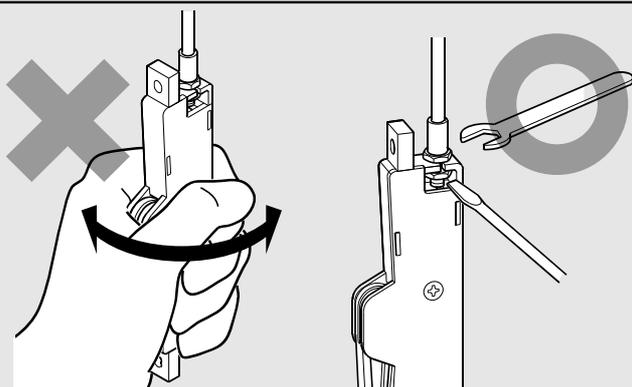


●レバーに戻しても操作スイッチの異常ランプが消えない。



▲注意

●非常開放レバー調整のため、非常開放レバーを回してねじ部の調整は行わないでください。非常開放レバー内部のワイヤーが切れるおそれがあります。



4 上・下限の設定方法

●コネクタを無理に押し込んだり、引っ張ったりしないでください。

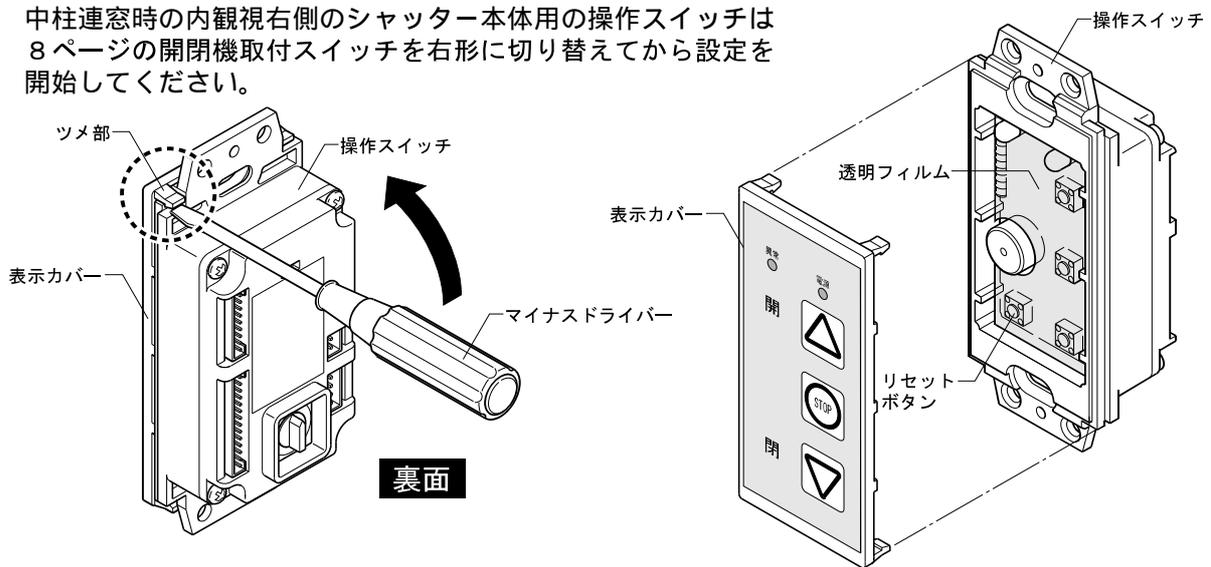
●操作スイッチの透明フィルムは、はがさないでください。

①操作スイッチの表示カバーを外します。

ツメ部分にマイナスドライバーを差し込み、表示カバーを取り外してください。

②リセットボタンを押して電源ランプが緑色の点滅になったことを確認してください。

中柱連窓時の内観視右側のシャッター本体用の操作スイッチは8ページの開閉機取付スイッチを右形に切り替えてから設定を開始してください。



■上限の設定

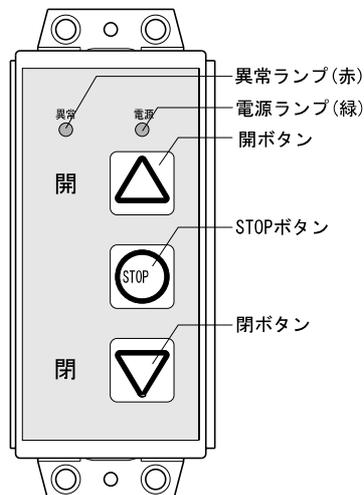
①非常開放レバーを手動側にしてシャッターを20cm以上手で下降させます。

②下降後非常開放レバーを電動側にもどします。

③ 開ボタンを押し、シャッターを上昇させます。

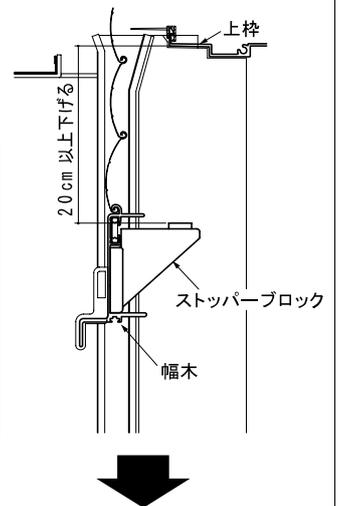
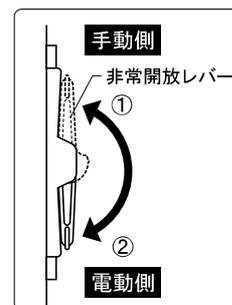
④ストッパーが上枠に当たり、モーターに負荷がかかると、「ピーッ・ピーッ・ピーッ」という音が鳴り、自動的に上限が設定されます。

●操作スイッチ

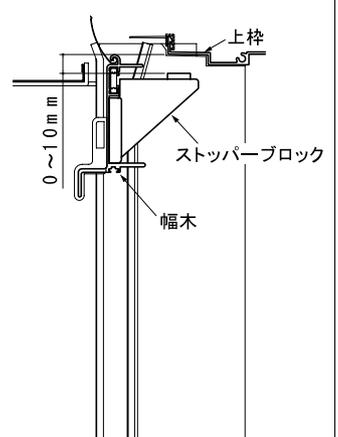


【上限設定位置】

上枠より20cm以上、下降させます。



上枠にストッパーブロックを当てて停止させることにより、上限が設定されます。上・下限設定後は上昇させると、右図の位置となります。



■ 下限の設定

- ① 上限を設定した後、すぐに操作スイッチの▽閉ボタンを押してシャッターを下降させます。
- ② 幅木が下枠に接触したら、 STOPボタンを押して停止させます。
- ③ 「ピーッ・ピーッ・ピーッ」という音が鳴るまで5秒間 STOPボタンを押し続けます。
- ④ 設定が終了すると、操作スイッチの電源ランプ(緑)が点灯に変わります。

※ 上限設定後、70秒以内に下限設定しない場合は、上限設定がクリアされます。再度リセットボタンを押して、上限設定から始めてください。

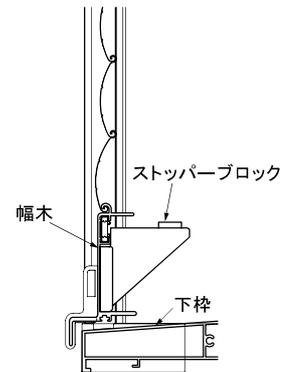
※ 上・下限位置の再設定を行う場合は、リセットボタンを押して上限設定から始めてください。

※ 下限設定時に、スラットがダブつかないように設定してください。

- 下限設定中に障害物検知が働き、途中で下限が設定されてしまう場合は、次の「障害物感度レベルの設定方法」に従って感度レベルを鈍くするとともに、再度リセットボタンを押して上限設定から始めてください。

【下限設定位置】

※ 幅木が下枠に接触したら停止し、再度 STOPボタンを5秒間押して設定します。



5 障害物感度レベルの設定方法

※ アルミ電動タイプは障害物感度レベル設定は不要です。

※ 本製品は、モーター負荷検知による障害物検知機能を装備しています。

下降中の障害物検知感度は、操作スイッチコードの障害物感度表示ラベルのサイズ別の設定表の番号と操作スイッチ裏面の障害物感度設定ダイヤルの番号を合わせることで、障害物検知感度が適切な状態となるように設定されています。

万が一、通常下降動作において下降しきれず途中で停止してしまう場合のみ、以下の設定を行ってください。

- ① 操作スイッチ裏側の障害物感度設定ダイヤルを回し、1目盛大きい数値に変更します。

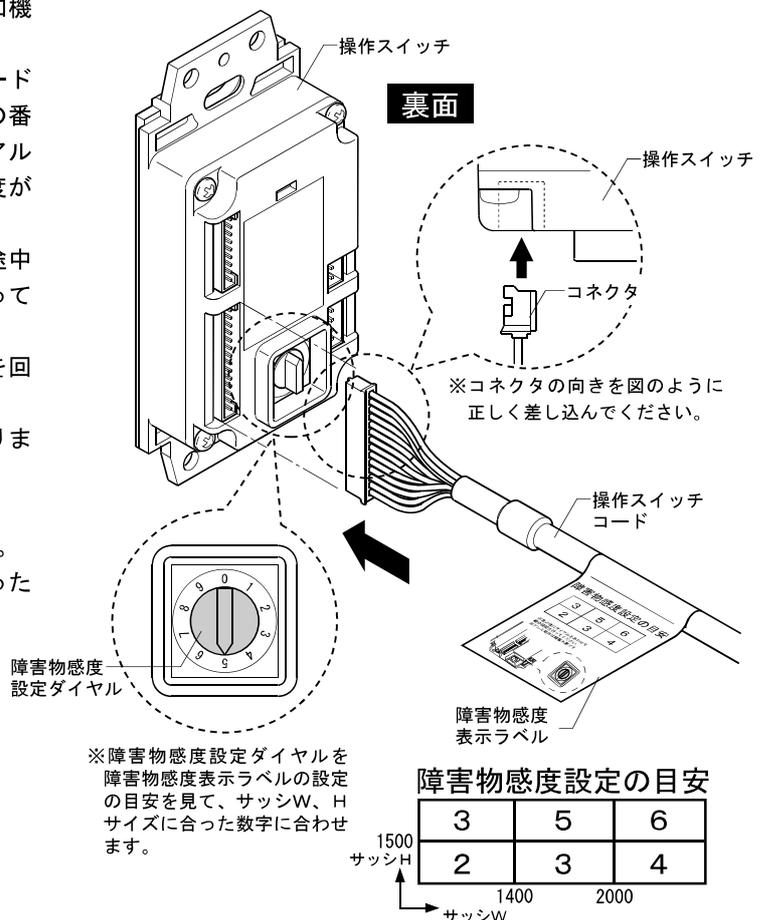
※ ダイヤル0番が高感度で、9番が最低感度となります。

- ② シャッターの動作を確認します。

- ③ 正常に動作するまで①②を繰り返してください。

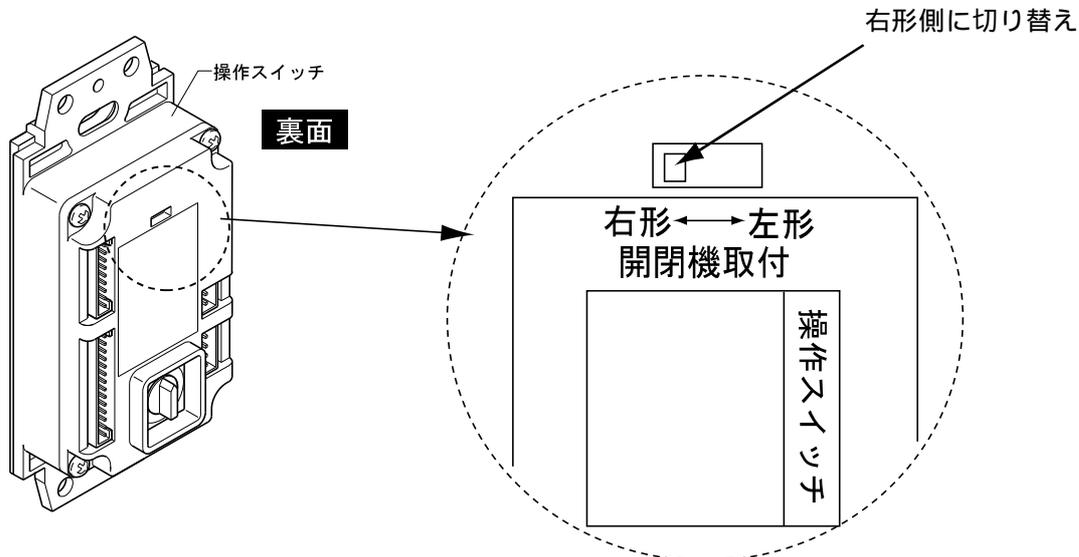
※ 上・下限設定時に下限が正しく設定されなかった場合は、①の後にリセットボタンを押して上・下限設定をやり直してください。

※ ガイドレールのねじれ・狭まりによる摩擦が原因で、障害物検知機能が働く場合があります。サッシ枠を取付け直す等で調整してください。



■ 中柱連窓時の操作スイッチの切替え方法（内観視右側のシャッター本体のみ対象）

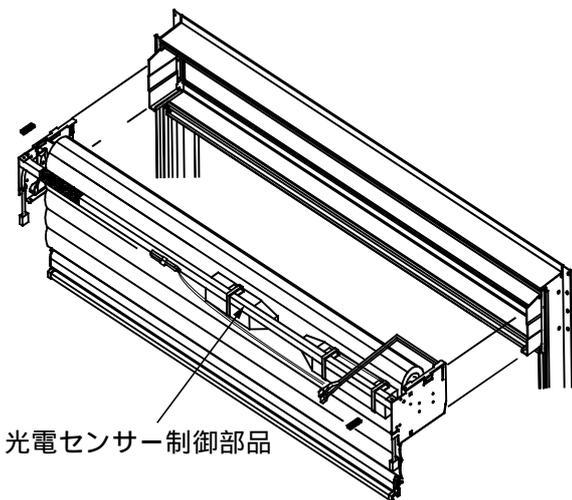
上・下限の設定をする前に、中柱連窓時の内観視右側のシャッター本体に取付ける操作スイッチは、操作スイッチ裏側の開閉機取付スイッチを右形側に切替えてください。



右形に切替えた後は必ず上・下限設定をやり直してください。
この切替えをしないとシャッターの動作が逆になります。

■ 光電センサーの動作確認

光電センサー付タイプはセンサーの動作確認を以下の手順で行ってください。



1. 光電センサー制御部品のランプが緑色の点灯になっているかどうか。
点灯していれば正常状態です。
2. ガイドレールの光電センサー部を手などで塞いだ時に、光電センサー制御部品の緑色ランプが消灯するかどうか。
塞いだ時に消灯すれば正常状態です。

ランプが点灯しなかったり、点滅する時はコネクタ等の接続部を確認した上で再度確認してください。

新日軽株式会社

本社 / 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎エスタワー TEL:03-5759-2100 (代)
お客様相談室 (フリーダイヤル) 0120-37-2534